

六葉会 会報

2020 年
4 月号



関東学院六浦中学校・高等学校同窓会

<http://www.rokuyoukai.com>

表紙を飾る版画家 大庭明子さん

(23 回生)



表紙の作品紹介

GLEE CLUB 2020 木版画、色鉛筆 14.8×19.5 (cm)

「作品が出来上がって、念のため母校のwebsiteで最近のクラブ活動を確認したらなんとグリーンクラブがない。確かに以前はありました……でもどこで歌っていたんだろう。記憶がありません。美声のハーモニーを聞きそびれました。すみません。」

大庭明子 (おおば あきこ)

1956 逗子市生まれ。東京造形大学絵画科版画研究室にて馬場栲男氏に師事、卒業。神奈川県美術展、日本版画協会展などで受賞。イビザグラフィック展（'84）、ビトラ国際版画トリエンナーレ（'94）、他に出品。文化庁芸術家国内研修員（'85）を経、各地で個展開催。主な挿絵に山北宣久著『福音と笑いこれぞ福笑い』（教文館）、林あまり著『光を感じるとき』（教文館）、絵本に中川ひろたか・大友剛著『ことばのくにのマジックショー』（アリス館）、荻田澄子著『にくまん どっち?』（アリス館）など。

<http://www.obaakiko.com>

C O N T E N T S

大庭さんプロフィール・作品紹介・略歴……	表紙2
会長挨拶……	1
校長先生挨拶……	2
追悼文……	4
プロ野球を目指して……	6
六浦祭に行ってきました……	8

第68回卒業式 ……	9
同期会レポート……	10
親睦ゴルフ大会・お知らせ……	16
68回生学年幹事総会・六浦祭のお知らせ…	17
校訓……	裏表紙

会長あいさつ

六葉会会長 島根正隆（90年生）



オリンピックは1896年のアテネ以来三十二回目の4年に一度のスポーツの祭典、前回1964年夏季の東京オリンピックは日本が得意としてきた柔道が初めて採用された種目でもありました。レスリング5体操5柔道3など16個の金、その中でも「東洋の魔女」と呼ばれた女子バレーボールが大活躍し日本中が湧いた種目でありました。同時に高度成長（東海道新幹線・首都高速道路等）を支える基盤整備が急速に進み戦後日本の復興が世界に発信されるチャンスとなり日本人には大きな勇気や希望をだれしも感じたものとなりました。

2020年オリンピック・パラリ

ンピックは都市型スポーツ（スケートボード・サーフィン・スポーツクライミング等）が新たに採用され昨年のラグビーワールドカップ同様に日本中がまた世界中が賑わうことでしょう。日本代表の若き新時代に大いに期待したいものです。又スポーツの祭典を通してどのようなレガシー（遺産）を未来に残し継承できるか考えさせられる大会でもあります。

母校が令和初の卒業生（第68回生）150名が新たに六葉会の会員に加わり会員総数13,830名になりました。今回の卒業式は新型コロナウイルス関係のため教職員と卒業生のみで行われましたが新会員の皆様の積極的な参加に期待します。

同窓会は常に母校の発展向上に積極的に協力することを目的に毎年生徒会に活動支援金を贈呈し少しでもサポート出来ればと思っています。合わせて皆勤賞を卒業生に六年間2名、三年間10名に記念バッチと記念品を贈呈しました。在校生については七人制女子ラグビー高校生部で全国19チーム参加し全国優勝しましたが今後もより攻めの強化を計るこの事です。母校の支援に対し本年1月学校法人より六葉会に顕彰を受けましたことを報告いたします。

ますます活気ある同窓会を築くため役員一同一丸となって活動が続けて行きます。今後ご指導ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、東日本大震災から9年にわたって東日本大震災募金活動の被災地支援ご協力をありがとうございます。義援金は毎年3月と9月に日本赤十字社に届けています。一日も早い被災地の復興復興をお祈りいたします。

ますますフラット化する世界に向かって

関東学院六浦中学校・高等学校校長

黒畑 勝男



将来に向け生徒たちは今何を学ぶべきか。生徒たちにどんな力をつけるべきか。学校はどうするべきか。いつの時代も学校に向けられる問いです。しかし、10、20年後の社会を想うと、この問いかけの角度は変わるべきでしょう。「学び」は今までのあり方でいいのか。学校の「役割」は何か。六浦は2013年に60周年を迎え、14年より学校は「どうするべきか」ではなく、「どう変わるべきか」の観点に立つて教育改革を進めてきています。

日本は明治維新から二つの大戦や関東震災などの大きな災害を経験しながら工業力を育成し、科学技術力の振興と経済発展でステータスを築いてきました。教育の貢献はとても大きなものでした。合理的な日本式の教育を確立させ、高度経済成長とともに教育の高率化を国民がこぞって追い求めてきました。しかし、1990年代後半に東西の壁は崩れ、同時にインターネット技術が躍進し自由経済が一気に地球規模に拡大すると、日本の優れた教育もそのあり方自体がガラパゴス化してきたと言えます。

ICTの急速な発展とサプライチェーンでの国際化の拡大。また、経済格差がマクロ的に縮小しあらゆるジャンルで日本企業の海外進出が進めば、さらに人も物も往来が加速します。入国管理法も改正され、海外からの留学生の日本国内での就職も促進されます。日本国内での国際化（フラット化）が進むことは誰もが予想することです。通信技術の5Gのステージもすぐそこに来ています。AIやロボット、RPAとIoTが日常へ浸透し、政府が唱えてきた「ソサエティ5.0」はもはや想像上の概念ではなく実相へと近づいています。科学技術の進歩がもたらす変化はこれまでの経験にはない大きな変化でしょう。そしてまた、未曾有の少子高齢化と生産年齢人口の減少で日本国内でのフラット化は間違いなく加速します。そうした社会において求められる力や人材とは、を考えずに教育のあり方を論じられません。学校は教育観について、意識の劇的なチェンジが必要と考えます。

日本の体系化された教育システムは内容的にとっても誇れるものです。しか

し、劇的なチェンジの中で必要な観点は、「主体的」で且つ「協働」して課題に取り組んでいく力を育成するという観点です。指示待ちではない力の育成です。主体的であるためには「自走」できなければなりません。自走のためには自分でターゲットを設定し、論理的に考えターゲットに主体的に到達する力を発揮できるようにならなければなりません。その力は協働することによって平和や持続可能な発展を生み出す力となります。そして協働する力はトータルなコミュニケーション能力に裏打ちされることが必要です。

六浦中・高は、2015年4月にICT環境を整備。95%の教室に電子黒板を設置し教員がパソコンやタブレット等を用いる授業を開始しました。3年をかけ授業での活用を促進し、新たな授業・学び方への転換を目指して研修を重ねてきました。18年から中2以上がChromebookを所持。授業や諸活動での活用の他、e-learning教材による自学のツールにもなっています。19年度からは教育活動を効率化する管理システム「Google Classroom」を採用。

教員と生徒間の様々なやり取りや生徒間の主体的な学びと活動がサイバー上でできる環境を整えました。これは単なるツールの導入ではなく、授業や学び方、活動方法での改革です。神奈川県下でも先駆的な取り組みと言えます。カリキュラム面では、英語授業へのCLILの導入、「地球市民講座」、「文章力向上講座」などの設置、全員参加の修学旅行から選択制研修への切り替えなど、大きく教育改革を進めてきています。

今いろいろと論議されている大学入試制度改革は、全体の制度設計では迷走もあり動きが遅いように見えますが、一方で個別に大学を眺めると入試選抜は着実に変わってきています。生き残る大学は総合的に選抜する傾向を増しています。大学自体が国際化で強くなるためにもガラパゴス化した日本の教育からの脱却を目指さざるを得ないからです。

六浦は単に大学入試改革への対応を目指すのではなく、10、20年後の社会の変化を見据えて教育改革を進めています。どうぞホームページをお訪ねく

ださい。

（学校長2014年入職・就任、今年度は第二期3年目）

注1：RPA Robotic Process Automation／ロボティック・プロセス・オートメーションの略
ホワイトカラーのデスクワーク（主に定型作業）を、パソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが代行・自動化する概念です。

注2：IoT Internet of Things の略
読み方はアイオーティーです。モノがインターネット経由で通信することを意味します。

注3：ソサエティー5.0 日本が提唱する未来社会のコンセプトです。

注4：ICT「Information and Communication Technology」の略
情報処理・情報通信分野の関連技術の総称です。

注5：CLIL Content and Language Integrated Learning の略
教科科目やテーマの内容（content）の学習と外国語（language）の学習を組み合わせた学習（指導）の総称。近年は「内容言語統合型学習」として呼ばれ定着しつつあります。

奥様と二人三脚の人生 私たちの偉大なる先生

伊藤 由季子（23回生）



相原寅雄先生は、令和元年9月19日にご逝去されました。享年94歳でした。

10月の声を聴く寸前、9月の最終日に、「みなさんお忙しいからと止められていたのだけれど、お知らせだけ。寅雄さんがね・・・」と先生の遺志に板挟みの中で躊躇されながらも、少し落ち着いたからということで、奥様から連絡を受けました。

後々のことを託す奥様のこと、連絡を受け取る生徒のことも気遣われる先生らしさと、長年教員業に就かれた先生に連れ添われた奥様のお心遣いがありがたく感じながら、電話口からの一言一言を受け止めていました。

45年前、関東学院六浦高等学校第23回3年5組の担任として、静かに、そして強い意志と相原流のペースで、

クラス全体を仲間同士に繋ぎ合わせてくださっていました。

相原先生は、オールバックでネクタイをキチッと締めたスーツ姿で、目力の強い、一見強面のオーラを流しているのですが、口角を上げてニッと笑う笑顔には、厳しさの中に愛らしくもあり、大らかな愛情を、照れくさそうに見せてくださるところが印象的でした。

先生は丁度私たちの親の世代です。個性豊かで怖いもの知らずの生徒たちには、何かとどこかしく感じられていたことも多かったことと思います。教育魂が勝ると燃え上がる様な熱さを身体全体で放出されるので、厳格が歩いている印象も強かったか

もしません。

文化祭で3年5組の有志が、当時松本零士のマンガで流行った「男おいどん」に出てくる「サルマタケ」という、上品とは言えないネーミングのキノコを看板にした「イベント小屋」を出店しました。高校の文化祭となると少々背伸びをして大人の仲間入りをするような匂いもするのですが、お菓子の準備や、占い部屋を造る等、かなり遅い時間までワイワイと居残っていた時、おトラさんはニコニコと「おう、早く帰れよ」と声をかけて見まわすだけで本当に自由にさせてくださり、何となく大人扱いされた喜びも感じました。

卒業後も、何かにつけて3年5組は「おトラさんのクラス」として、連帯感があると言われてきました。クラス会のご出席をお願いすると、

必ず奥様が運転する車で駆け付けてくださり、奥様は遠慮されて会の終了まで横浜のデパート等で待っていることが常でしたが、後々には茨城からでも車で来られ、特別な会としてご一緒いただく事も出来ました。先生に退職後のことをお訊ねした時、「老兵は去る」「立つ鳥・・・」等と言われ、下準備をしっかりとやること、その上で、さり気ないことや節目を大事にすることも教えて頂きました。現役から離れて畑をされた時のトウモロコシはとても美味しかったです。潔さを有言実行される姿が先生らしいところですが、卒業生にとっては涙が出るほど欲しくなるような資料が、ご自宅に山積みであったという話もあり、卒業後、何年経っていても高校時代の情報を教えて頂けた理由がわかりました。見せる姿勢、見

えない努力を惜しまない先生でした。先生の想いも付き合ひも全て生活の一部にしてくださいました奥様にも感謝しています。

先生が繋いでくださったご縁で六葉会に参加するようになり、先輩方が語る「おトラさんエピソード」には、先生を信頼した何とも言えない響きを感じられ、いつの間にか相原先生を通して、先輩方や後輩ともつながる絆のようなものができ、今でも続いています。

相原先生との3年間の関東学院六浦高等学校の生活は、その後の人生にも濃厚な彩りを添えてくださいました。本当に感謝しかありません。いつまでも私たちの絆の礎です。

相原寅雄先生ありがとうございました。

プロ野球を目指して

高 歩 (63 回生)



卒業アルバムより

初めまして。香川オリブガイナイズの高歩（おおたか あゆみ）です。私の事をご覧にならない方も多いと思いますが、

まず簡単に自己紹介をさせていただきます。1996年9月17日、横須賀市田浦町の出身で現在23歳です。関東学院六浦で小中高と過ごし、大学はスポーツ推薦の待生で函館大学に進学しましたが、1年で中退し地元から通える鶴見大学に編入しました。しかし、両親や弟の事も考え、鶴見大学も2年で中退し、NPB（日本プロ野球機構）を目指すため、独立リーグに挑戦しました。

2018年はBCリーグの滋賀ユナイテッドに所属。思うような結果が残せず退団し2019年からは四国アイランドリーグIIIの香川オリブガイナイズに所属しています。

野球を始めたきっかけは、小学3年生の時に、祖父と一緒に遊びに行った公園で同世代の子どもが野球をしているのが楽しそうで、やってみたくらいと思い、「東スターズ」に所属しました。小学校時代から投手を任せられ、毎週末は祖父や両親に連れて行つて貰い、楽しく野球に取り組んでいました。

中高も野球部に所属し、野球に熱中してい

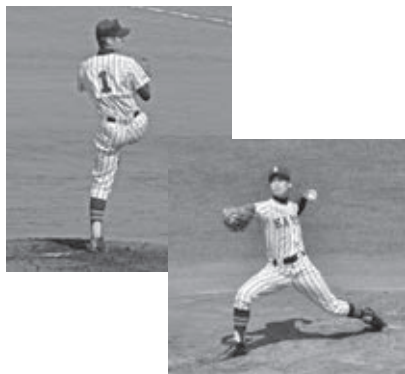
ました。高校3年の夏の神奈川県大会では、スタンドにOBの方々の応援の中、高校の先輩の小泉進次郎さんも応援に来られ、勝利した際に「おめでとう！」と言って頂き、握手したことが本当に嬉しかったです。残念ながら次の試合で負けてしまい、甲子園に出場は出来ませんでした。小中高と関東学院六浦では、本当に良い学生生活が過ごすことが出来ました。

その後、2度の大学中退、1年で滋賀ユナイテッドを退団と野球面だけでなく、生活面でも大変苦しい、厳しい時期を過ごしました。「野球を離れたい」と思う事も1度はありました。その中でどうして今も野球を続けているのかと言えば、関東学院六浦の精神「一人になれ奉仕せよ」という言葉が常に自分自身の中に残っています。

現在所属する香川オリブガイナイズは、他の独立リーグの球団と比べて、過去15年間のNPB選手の輩出が25名以上と最も多く、NPBに一番近い球団だと考えています。

昨年は、その香川オリブガイナイズの所属する四国アイランドリーグIIIの選抜選手として約1カ月北米遠征に選出して頂いたり、宮崎県で開催されているフェニックスリーグにと選出されNPBの選手を相手に投げる事が出来ました。昨年から課題である制球力も投球フォームを調整し改善されつつあり、球速も今までの144キロを更新することが出来るイメージもあります。まずは4月からの試合で結果を残しスカウトへアピールすることでNPBへの道に近づけると 생각합니다。

神奈川県から香川県は離れてはいますが、OBの方々から頂く連絡やメッセージはいつも励みになっています。また、香川や遠征先



高校時代の力強いピッチングフォーム



香川オリブガイナースのユニフォームが良く似合います

の福岡の試合まで応援に来て頂けるのは本当に嬉しいです。

関東学院六浦の出身として自信と誇りを持って野球に取り組みますので、皆様今後ともご声援宜しくお願いします。

最後になりますが、関東学院六浦で得た精神を活かしより一層努力し皆様に恩返しし喜んで頂けるよう邁進して参ります。今年私の後援会を野球部OBの皆さんが中心になって結成して下さいました。皆様応援宜しくお願い致します。

～大高歩後援会よりご案内～

母校63回生の大高君はプロ野球入りを目指してチャレンジを続けております。大高君の所属している四国アイランドリーグplusと言うのは野球界の底辺拡大と選手の育成を目的にしていますが、資金集めも選手個人に任せられているのが現状です。

四国アイランドリーグplusはNPBを目指すのはもちろんとして地域の為、地域の子供

達の為に日々選手自信がイベント類をし地域の皆様のお力をお借りしてシーズンを戦わせて頂いています。

独立リーグの選手はNPBと比べ、給与はシーズン中の約6か月間のみになります。月給で約10万円しかありません。昨年はシーズン中にも合間を見て練習後にアルバイトをしながら資金を集め生活をしていた。

その中から家賃・光熱費・食費・野球道具の為に費用を捻出する必要があります。もちろん自炊もしていますが、NPBを目指すための体づくりには、栄養管理された食事やプロテインも欠かせません。その為にも後援会の皆様にこそ支援頂きNPBへのサポートを頂きたいと考えます。

必ず今シーズン終了後は地元の皆様の良い報告が出来るように精進しますので、是非ご支援の程、宜しく願います。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、後援会の趣旨にご賛同のうえ、皆様方からの温かいご支援を賜りたく、ご協賛のお願いを申し上げます。

1. 募集要項

- ・年会費…個人の皆様 一口1万円（複数口お申込み頂けます。）
- ・会費期間…2020年2月からシーズン終了時（2020年10月）
- ・会費用途…選手個人横断幕の作成費用、シーズン中の選手強化に要する費用等
- ・会員特典…お名前・選手本人よりお礼のご挨拶に同わせて頂きます。また、シーズン開幕前（3月中旬を予定）に開催します

壮行会及びシーズン終了後の報告会にご招待させて頂きます。

2. 入会方法（振込先）

お名前・ご住所、お電話番号をお知らせ下さい。
かながわ信用金庫

本店営業部 普通 1705705

大高歩後援会 代表 陳寛明

連絡先 080-4331-9170

0917-14@softbank.jp

皆様から温かいご支援を賜りたく、ご協賛のお願いを申し上げます。



四国アイランドリーグplus 四国選抜のメンバーと

六浦祭に行ってきました。

2019年10月25日(金)～26日(土)の両日に、中学から高校の在校生や卒業生も楽しみにしている六浦祭に行っていました。

六浦祭はクラブ活動の文化部は勿論、各クラスが参加する毎年実施される「文化の祭典」です。一年間の、あるいは長年の、研究の積み重ねを発表したり、様々なイベントを行ったりと、企画も様々で、中には、とてもユニークな研究も実施されています。本校のクラブ活動も様々あり、多くのクラブが日々研鑽しています。その成果を発表するのですから、中々見応えがあります。いろいろと見て回ると、こういう研究もあるのかと感心する研究発表が多く見受けられ、母校のクラブ活動のレベルの高さに思い入ります。各クラスの出品、出店もクラブ活動に負けずにレベルの高い展示が数多くあります。

校内を見学しますと、在校生の意識の高さには、頭が下がる思いがあります。こんなことという少し語弊があるようなことに対して、中学生、高校生のレベルを遥かに超えた研究や出品、出展が目につきます。展示や出品を見て回っていると、思わぬところに眼を向けたような研究がたびたび見受けられました。改めて大人の目とは違う、中学生、高校生の新鮮な着眼点が如実に現れているクラブ活動の発表でした。クラスや有志の展示や発表は、これもまた、中学生や高校生のレベルを超えたユニークさが現れていました。そこには、夏休みも返上して六浦祭に打ち込んだ成果がとてもよく表れていました。



いつも賑やかな中庭です



今年も六葉会の部屋を設置して卒業生をお迎えしました

六浦祭を見て回った卒業生としては、自分の母校で過ごした日々を懐かしく思い出させてくれる2日間でした。こういった皆で一所懸命やる、六浦祭。この様なところに、母校である関東学院六浦中学・高等学校らしさが現れているように思いました。



生徒会長の大石舞香さんに六葉会から支援金が送られました

第68回卒業式

教頭 中田 努（34年生）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束の見通しが立たない状況の中、2月27日に安倍首相より「3月2日（月曜）からの休校措置への要請」が発表されました。本校でも3月2日（月）より3月31日（火）までの期間、休校を余儀なくされてしまいました。止むを得ず卒業式を中止にする学校がある中、本校では生徒たちの人生の大切な節目となる卒業の日を、生徒の健康と安全を優先にしつつ、また生徒の大学受験日程等の周辺状況を見ながら、3月7日（土）

から3月1日（日）に日程を変更して、卒業生と教職員のみが参列する形で、第68回卒業式を挙行致しました。ご列席いただく皆様のご健康を最優先に考え、感染予防対策および拡散防止のために最大限の協力が必要と考え、保護者の皆様や来賓の皆様の参列をお断りするという苦渋の決定を致しました。

を自分のように愛する人」になってほしいということ、そして、平和をつくる人、それが「人になれ 奉仕せよ」を実践する人だということが語られました。

式典の後には各クラスで担任から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され、それぞれの生徒にコメントが伝えられ、笑いあり涙ありの想い出に残る卒業式になったのではないかと思います。



マスクを付けて1人おきに

なる卒業の日を、生徒の健康と安全を優先にしつつ、また生徒の大学受験日程等の周辺状況を見ながら、3月7日（土）

卒業生は全員マスク着用で、隣の人と座席をひとつずつ空けて着席をして、讃美歌や校歌の斉唱も控えて、卒業証書の授与は各クラスの代表者1名ずつ5名に授与をするといった、異例の卒業式となりました。六葉会の皆様から皆勤賞を頂いた生徒たちは、誇らしげに胸に頂いた徽章をつけて参列をしていました。この場をお借りして御礼申し上げます。校長の式辞では、ものの見方、考え方を柔軟に保ってほしい、「主体性」を持つてほしいということ、平和を守る人になってほしい、「隣人



閑散とした礼拝堂

2019年度 同期会リポート

今年度も多くの学年で同期会やクラス会が行われました。六葉会に連絡を頂いたものを、ここに掲載させていただきます。六葉会では通信費の補助金を差し上げたり、住所録の用意をしたりいろいろなサポートをさせて頂いています。成人式の年にまた還暦の記念にと様々な年齢で行われているようです。

六葉会への連絡はお手数ですが、手違いを防ぐためにメールでお願いしております。

- 開催日時
- 開催場所
- お見えになった先生方のお名前
- お集まりになった人数
- 集合写真（会報に載る時にはモノクロで縮小しますので個人が特定される可能性は小さいです）

六葉会から提供出来るものは

- 1) 住所録（原則として卒業時の担任から手渡し）
- 2) 卒業アルバム画像データ
- 3) 在校時の名列
- 4) 通信費補助金（おおむね1クラスにつき3,000円）

こちらにご連絡ください。info@rokuyoukai.com



横浜崎陽軒本店 5Fにて

2019年5月15日（水）の12時から
横浜崎陽軒本店 5F
学校第1回生のクラス会が横浜崎陽軒本店 5Fにて開催されました。今年では
全員85歳を迎える超高齢者の集まりとなり
ましたが、男性14名、女性7名、総
勢21名が出席いたしました。「大病を得

【第1回生】

2019年5月15日（水）

横浜崎陽軒本店 5F

「のために欠席」との返信が多く、この一年で多くの方が体調を落としている様子が見受けられ、今後のクラス会の継続について危惧されましたが、結果的には昨年比べて人数は減りながらも、21名の集会となり、今後も今まで通りに続けていきたいという全員の共通した強い認識が得られました。

賑やかに楽しく話が弾みながら会が進行しましたが、その際に、六葉会の常任幹事会にオブザーバーとして出席されておられる若林節さんから、5月に開催予定の六葉会総会のご案内があり、出席メンバーに参加を促しておられました。普段あまり気が付かない六葉会の幹事の方々のご苦勞に一同感謝の思いをはせました。

今年の欠席者の中にも来年は是非参加して楽しく過ごしたいとの希望もありましたし、そのためにも、この先一年健康に気を配って元気に過ごし、来年も楽しく集おうと約束して散会しました。

(1回生 西村 勇)



【第62回生】

2019年6月1日(土)

ホテル横浜ガーデン

2019年6月1日17時よりホテル横浜ガーデンにて、75人の同級生が集まりました。

先生方は大野先生、佐々木先生、大村先生、八巻先生、杉村先生、櫻井先生、滝先生、深野先生が参加されました。



みんな元気でした！

【第22回生 S3-4クラス会】

2019年6月1日(土)

鎌倉パークホテル

昭和49年卒業の第22回3年4組クラス会を2019年6月1日に鎌倉パークホテルにて実施しました。大変残念なことです。担任の福田淳恵先生には平成31年1月にご逝去なさりましたので、今回のクラス会からは担任の先生のご出席が叶わないこととなりました。



故福田淳恵先生の遺影と共に 11名が出席

【第9回生】

2019年7月7日(日)

鎌倉パークホテル

9回生は鎌倉パークホテルにて喜寿の

同期会を開催しました。参加者64名が今
日までの健康に感謝し終始和やかに楽し
い時を過ごすことが出来ました。



64名もの参加がありました

【第21回生 S3-2クラス会】

2019年10月5日（土）

上大岡ビストロラトゥール

46回目となるクラス会を開催しました。

何度も大病をされた大西先生もお元氣な姿を見せられ皆嬉しく思いました。

命の危険に直面した友人もおり皆今年も会えた事に感謝しつつ又、来年も元氣に出席できるよう毎日を大切に過ごそうと誓い合いました。



46回目のクラス会にも大西先生は来てくださいました

【第24回生】

2019年10月26日（土）

本町シエル

24回生の同窓会を10月26日（土）に昼

の部を横須賀下浦板の同級生渋谷君の店「本町シエル」で、夜の部は同じく同級生永島君の「佐野温泉 のぼり雲」で行いました。準備期間が少なかった割には昼しか出られない女子の参加も多く、7年ぶりの親交を深めることができました。国近先生と奥山先生にも、お元氣なお顔をみせて頂きました。



国近先生と奥山先生も参加して下さいました

【第36回生】

2019年11月9日（土）

ロイヤルホールヨコハマ

2019年11月9日土曜日ロイヤルホールヨコハマにて、関東学院六浦高校36回生学年同窓会を開催しました。

1組担任の国近高龍先生、3組担任の安達みな子先生、5組担任の加藤芳信先生がお越しくださり、齢五十となる卒業生61名が先生方や旧友と近況や懐かしい話に花を咲かせ、あつという間の3時間でした。



61名の参加がありました

【体操部OB会】

2019年11月10日（日） 15:00

KABA'S KITCHEN 金沢文庫店

楽しく呑み、食べ、喋りして集合写真 撮り忘れ：

2次会終わりの人数欠けた写真になりました。

先生の83歳のお誕生日をお祝い。毎年のお決まり行事です。



奥山先生を囲んで

【第5回生】

2019年11月14日（木）

中華街一楽にて

11月14日晴天に恵まれ、中華街一楽で



中華街一楽にて 互暉会

互暉会を無事終了いたしました。

87名に案内状を送付しましたが、68名の返信があり残り18名の状況の把握できませんでした。（大西泰輔君が今年1月26日に死亡）全員で約120名でしたので3分の1の方が亡くなったと思われます。出席された方も足が悪い方、病院に通われて方、さまざまでしたが、昔を思い出して楽しい一時を過ごすことができました。

来年度は互暉会の最後の開催とすることに決まり、一人でも多くの方の参加を望むところです。

【第66回生】

2020年1月13日（月）

ロイヤルホール横浜

2020年1月13日（祝月）にロイヤルホール横浜で131人が参加して66回生の学年同窓会を開催しました。

参加された恩師の先生方は小田部先生、佐藤先生、芹田先生、小林先生、松田先生、小松先生、土屋先生、山本典先生の計8名です。お互いが久しぶりに会えた



成人式の同期会です

【第2回生】

2020年1月20日（月）

銀座ライオン横浜西口店

同窓会懐かしい表情を浮かべつつ、楽しんでいた様子でした。

2回生同期会は五年前からそれまでの年一回四月開催であったものを年四回（春夏秋冬）開催に発展（？）させていて、今年度四回目の同期会をこの2020年1月20日（月）の大寒入りの日に新年同期会として横浜駅西口ジョイナス地下の銀座ライオン店で開催し十名が参加しました。

年に四回開催となると毎回の出席者数はやはり少なくなりますが、三カ月毎に同期生に会えるというメリットには捨てがたいものがあると思います。次回開催は四月ですが、前述のように五年前までは長年にわたり年に一回の四月開催でしたので今でも四月の春季同期会への出席数が一番に多くなる傾向があります。この期待の春季開催を目前にしてコロナウイルス災害が発生しました。このため四月開催は無理となりましたが、願わくは、この災害が出来るだけ早くに終息し、七

月の夏季同期会の開催が可能となり、また同期生達と語り合えることを祈るばかりです。

同期会活動もやはり世の中が平和で落ち着いた状態でないとい出来ないことを実感しております。



春夏秋冬の年4回開催しています

【第34回生】

2020年2月8日（土）

関東学院大学エテルニテ

2月8日（土）、関東学院大学エテルニテ「エテルニテ」にて、34回生の学年同窓会を開催しました。卒業して34年。4回生の学年同窓会です。中学、高校と担任をしてくださった野村先生、安達先生、

加藤先生、萩原先生がお忙しい中お越しくださいました。またこの日のために遠方から駆けつけてくれたクラスメイトを含め、総勢78名もの参加でした。

34年ぶりの再会でも、声を掛け合えばあの頃に帰るのに時間はかかりません。

卒業式の時ネクタイの投げ上げのカウントダウンをしてくれた大木くんの乾杯の音頭から始まり、懐かしい写真のスライドショーを見ながら話に花が咲き、ゲームでは大盛り上がり。まるで高校時代に



関東学院大学人間環境学部エテルニテ（学生食堂にて）

戻ったようなひと時でした。残念ながら来られなかったクラスメイトの近況報告も行いました。何より、先生方からいただいたお言葉では、私達を想ってくださっていた温かいエピソードに胸が熱くなりました。

最後に皆で校歌を歌い、あつという間の3時間でした。

振り返って思うのは、もしもう少し遅かったら、新型コロナウイルスの影響で開催出来なかったかもしれません。34年ぶりにこうして再会でき、そしてまた繋がれたことを心から嬉しく思いました。

最高の34回生！

またの再会を約束して閉会しました。

六葉会からお詫び

2019年4月に発行された六葉会会報の「2018年度 同期会リポート」において、編集の手違いからせっかくいただいた掲載用お写真を失念してしまい多くの方をっかりさせてしまいました。ここに再度、本文とその時に掲載予定だったお写真を掲載してお詫びいたします。



三暉会（三期生の同窓会）

2018年11月6日 ホテルキャメロットジャパンにて

三暉会（二期生の同窓会）を、2018年11月6日正午よりホテルキャメロットジャパン横浜で行いました。前回までは、40人弱の参加者が続いていたが、今回は20名という、人数的には寂しい規模になりました。参加申し込みはもともと多かったのですが、急に配偶者が入院したとか、会場に向かっているときに転倒して怪我をしたなど、我々の年齢を感じさせられる会となりました。

しかし、参加者は互いの元気を喜びあったり、体調不良を慰めあったりと、楽しいひと時を過ごしました。今後も細く長く続けてゆこうと確認し、3時に閉会しました。

2019年4月17日開催

「第13回関東学院六浦中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会」

関東学院六浦中学校・高等学校 卒業生親睦ゴルフ大会



うららかな春の日差しの中開催されました

2019年4月17日、初めて春の大会となりました。毎年恒例のキングフィールズゴルフクラブで春の暖かな陽気の中の開催でした。初めての参加の方もおられとても楽しいゴルフとなりました。20代から上は80代の大先輩まで集まり、世代を超えた親睦の時間となり、毎年ここで出会う同窓生同志が仲良くなりプライベートでのゴルフを楽しむ仲になっている方も多いようです。

7月8日には三春台の卒業生との親睦ゴルフ大会も開催され、貸し切りでのゴルフ場が多く、関東学院卒業生でにぎやかになりました。2020年は三春台との合同の大会は15回目という記念大会で磯子カントリークラブでの開催を予定しています。

最近ゴルフを始めた方、久しぶりという方も大歓迎です。中高生時代を懐かしみ同窓生と触れ合う機会として一緒に参加しませんか。お気軽にご参加ください。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 2020年の開催のご案内 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

第15回六浦・三春台親睦ゴルフ大会

2020年6月15日(木) 磯子カントリークラブ

会費 24,000円(プレー代・パーティ費込み)

連絡先: 武田正雄(7回生) 090-3515-1395 今坂伸二(23回生) 080-1053-4713

第14回六浦中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会

2020年11月18日(水) キングフィールズゴルフクラブ

会費 21,000円(プレー代・パーティ費込み)

連絡先: 今坂伸二(23回生) 080-1053-4713 萩原孝(26回生) 090-8949-0850

参加資格: 本校の卒業生・在籍歴のある方・教職員(現役・退職問わず)

お一人でのお申し込みもお気軽にご連絡ください。

六浦祭

母校で開催される六浦祭にお越しください。

2020年10月23日(金)～10月24日(土)

今年の春にかけて本館も改修され、みなさまが卒業された当時とは大きく変わってきています。六浦祭では現役の生徒たちの催し物や模擬店で卒業生を迎えてくれています。たくさんの卒業生に応援されていきいきとしている後輩たちの姿を是非観に来てください。

2日間六葉会では「六葉会の部屋」でお茶とお菓子を用意してお待ちしております。懐かしい卒業アルバムや動画を観て現役時代を懐かしんでみませんか。お気軽にお立ち寄りください。

● 学校には駐車場がありませんのでお越しの際は公共の交通機関をご利用ください。

六葉会2020年度 総会のご案内

2020年5月22日金曜日 19時より
金沢八景駅前 AOKI (2階)

毎年六葉会では卒業生のご意見を直接いただける場として総会を開催しています。

2019年度の報告や2020年度の計画や予算などについて審議していただけます。六葉会が母校と卒業生に貢献できるよう努力しております。そのためにも皆様の貴重なご意見をお聞かせください。六葉会の会員の方はどなたでも出席できます。

六葉会68回生学年幹事の紹介

1組	齋藤 真帆	蓮田 莉子
2組	土井 優稀	龍崎 花音
3組	西浦 礼人	林 尚輝
4組	川合 一大	鈴木 ゆうか
5組	芦川 楓	森 明梨沙

クラス会や同窓会の開催の際にご連絡ください。
六葉会ホームページからアクセスできます。
※最新の住所録をご用意します。
※通信費の補助金を差し上げます。



人になれ 奉仕せよ

「人になれ 奉仕せよ」とは、1919年の中学関東学院第1回入学式において、初代学院長 坂田 祐が提唱したキリスト教に基づく本学院の教育理念を端的に言い表したものです。

私は式辞にキリスト教の精神を高調して建学の精神とし、これを具体的に表現するために『人になれ』と力説した。これは私が祈って、上から示された言葉であった。次に述べたことは、『奉仕せよ』であった。人のために、社会のために、国のために、人類のために尽くすことである、と力説した。爾来、キリスト教の精神をもって本学院建学の精神とし、これを具体的に表現するために『人になれ』『奉仕せよ』の2つの言葉を校訓として、機会あるごとに、これを強調して、今日に至ったのである。